

指定管理者業務 第三期スタート

サービスの向上を図り 日本一の公園を目指して

金山伝言板

園長 島田 信男

第三期指定管理者がスタートいたしました。全員の意識が第二期の継続ではなく、新たな年を迎え、新しい視点でよりレベルの高い公園の実現に向かって取組みましょう。

22年度は東日本大震災の影響を受け入園者数の減少にありました。23年度は、職員の努力、工夫により短期間で回復し、念願の年間入園者数60万人を達成いたしました。

全員の力を結集、発揮するとすべし成果が生まれる事を改めて痛感した1年でした。

公園管理運営の方針「金山総合公園スローガン」と「3つの合言葉」は不変です。なかでも公園運営に重要なテーマとして、安全・接遇・景観・清掃を中心にとの分野も高品質な状態で均質化が求められております。あそこは良いが、ここは駄目。あれは良いがこれは駄目では失格です。基本はしっかり実行しましょう。

さらに、24年度より組織に企画部を新設いたしました。県民との協働、ボランティアの皆様との活動、受け入れ態勢を強化する計画です。又、1期2期に引き続き「里山環境再生」と取組みます。

「子どもの国」が生物多様性保全の見本となるような都市公園を目指します。

トータルとして、よりお客様満足度の高い、お客様に愛される日本一の公園を目標に職員一同一丸となって頑張ります。

第72号

発行 金山総合公園
編集 園長 島田信男
太田市長手町480

TEL 22-1448
http://gunma-

kodomonokuni.jp



4月1日のオープニングセレモニー

- ◎公園スローガン
来園者を明るく笑顔で迎えよう
- ◆安全・安心を第一に考えよう
- ◆来園者に愛情あるサービスを求めよう
- ◆金山の自然をより豊かにする努力をしよう
- ◆すべての利用者が元気になるような公園づくりをめざそう

- ◎3つの合言葉
あいさつを、きちんとしましょう
- ◆身だしなみに、気を付けよう
- ◆サービスに徹しよう

施設の改修を行いました！

より快適な公園を目指して トイレのウォシュレット化や 授乳室の新設を図りました

23年度県の子ども基金による施設の改修工事を行いました。お客様のアンケートでも多く出されていたトイレについては、ウォシュレットを取り付け、レストハウス休憩所には授乳室を新設しました。

また、ふれあい工房ホールに、新たにAEDが設置されました。

同時に金山一円工事も行われ、無料遊具の改修や遊具周りの整備（足洗い場の設置）等により、お客様にも喜ばれる快適な公園となりました。



組織の充実目指して ★企画部を新設★

第三期指定管理者スタートに伴い、公園の管理運営を効果的かつ効率的に遂行していくため新しい組織体制とします。

従来の管理部・総務部から企画部を新設し3部門となります。企画部はイベント企画・実施、ボランティア対応、広報を担当します。

イベントの品質向上を図り、お客様に喜ばれる公園づくりを目指して行きます。

また、4月より、新しい役職者も就任します。

- ★新任役職者★
- ・企画部主任 関口 律夫

- ・A班リーダー 木野内敏男
- ・A班リーダー 蛭沼 久男
- ・ふれあい工房リーダー 小川 静江

3月入園者数			
入園者数	44,423人	前年同月比	153.8%
平成23年度 4～3月累計入園者数			
累計入園者数	600,363人	前年同期比	106.4%
3月有料遊具利用者数			
利用者数	24,104人	前年同月比	167.1%
平成23年度 4～3月累計有料遊具利用者数			
累計利用者数	316,422人	前年同期比	104.1%

おおたまちの先生見本市

* 里山を取り戻す活動を紹介 *

第2回おおたまちの先生見本市が3月11日(日)市内の城西小学校で開催されました。

この見本市は様々な団体の体験活動や環境を守るための活動を子ども達に紹介するもので、ザスパ草津のサッカー教室や赤城自然塾の活動報告などが行われました。

ぐんまこどもの国でもこの見本市に参加し、現在取り組んでいるゲンジボタルの生息空間の保全活動・山野草生息地の保全・里山再生の取組等を写真で展示し、紹介しました。

また、バルーンアート作りや竹とんぼづくりなどのクラフトも行われ、多くの人達で賑わっていました。来年は内容の充実を図って参加して行きたいと思えます。(金子記)



ドイツニーシーで楽しく学ぶ

職員研修旅行を実施

3月5日(月)ぐんまこどもの国職員研修旅行を東京ドイツニーシーで行いました。

ドイツニーランドの徹底したお客様とのあたたかく親切な接遇をこどもの国で取り入れられるものがあるのか、実際に現地を体験し、参考にすることを目的に取組みました。

当日はあいにくの雨と強風にもかかわらず、高校生や大学生などが多く、また、女性が非常に多い割合を占めていました。年間を通して女性客のほうが多

いと思われ、お土産の店なども女性向けの商品等の陳列量、品目の割合も大きかったです。

また、植栽については「花壇に雑草が生えていない」状況が見られました。植え替えを頻繁に行う事で雑草が生える状況をなくしているように見られました。花壇のデザインについては植物の特性を生かして立体的な花壇を作っていました。

接客面に関しては、スタッフ一人一人が楽しくそうに仕事をしていました。これによってお客様が楽しめる雰囲気が出てくるのかと思われれます。また、イレギュラーが発生した時もあるはず落ち着いた対応をしていますが、職員教育を徹底することで、レベルの高い接客が実現できているのだと感じました。

今回の研修で学んだことを、職員から提案してもらいこどもの国で取り入れられるものがあれば実施していきたいと計画しています。



(羽賀記)



指定管理者として第三期がスタートしました。日本一の公園を目指すという目標へみんなで力を合わせて進まなければなりません。スローガンを自分のものとして少しでも力になればと思います。4月号担当 関口

編集後記

☆☆4月のイベント情報☆☆

- 1日(日) 第三期指定管理者 オープニングセレモニー
- ・わたあめプレゼント
- ・ちんどん行進
- ・親子陶芸教室
- 7日(土) 昔の遊び体験
- 8日(日) 自然と遊ぼう
- ・マジック戦隊MCO
- ・紙ブーメラン教室
- 14日(土) エコキャンドル作り
- ・ロクロ体験教室
- 15日(日) 森の小さな動物たち
- 21日(土) 金山山歩
- 22日(日) ウェルカムボード作り
- 28日(土) マスのつかみどり

金山山歩

3月17日(土)金山山歩は、金山城の歴史がテーマで一般14名、スタッフ3名、計17名の参加でした。あいにくの小雨模様のため、山頂に向かう予定を変更し、ふれあい工房のホールにて金山城歴史保存会小林会長による初代金山城主 岩松家純の生い立ちから築城に至りその後、下克上にて横瀬(由良)氏が城主となり廢城となるまでのお話をさせて頂きました。

の山としてまつられていた事、天守閣のある姫路城、江戸城など、当時の日本建築技術の素晴らしさ、利根川の流れの変貌から水運として利用されていた、武將と姓の関係、当時、金山城に

登城に使われていた御成道は別ルートではないか、江戸時代の貨幣価値などバライティの富んだお話などは興味を覚えました。

だ23年度最後の金山山歩となりました。